

# TEACCH

## コラボレーションセミナー

### 2025

#### 会長からのメッセージ

1日目はTEACCH エグゼクティブディレクターのローラ・クリンガー先生のお話を1日たっぷりお聞きいただきます。TEACCHは日々変化していて現在と過去のTEACCHは同じではありません。私自身も最近、TEACCHのファンダメンタルや5デイトレーニングに参加する機会があり、英国の新しい概念が講義で紹介されたりしてTEACCHの変化を実感しました。現在地のTEACCHを知る、絶好の機会になります。2日目は日本の多様な実践の紹介とローラ先生とのディスカッションを行います。双方向性の議論を通してTEACCHの実践について新たな視点が得られるでしょう。仲間との議論を通じて、われわれの支援を再考し、より良い支援をめざしましょう。



TEACCHプログラム研究会  
会長 内山登紀夫

## テーマ TEACCHの現在地 —いま、知っておきたいこと—

開催日

2025年

現地開催

2月23日[日]・24日[月・祝日]

※1日目の講演は後日オンデマンド配信を行います

場所

京都産業会館ホール



講師 **ローラ・クリンガー博士**

TEACCH Autism Program  
エグゼクティブディレクター

通訳 重松加代子氏

#### ●プログラム

2月23日(日)

9:30 会場・受付

10:00 開会式

10:10 講演(ローラ・クリンガー博士)

12:30 昼食休憩

14:00 講演(ローラ・クリンガー博士)

16:30 終了

※TEACCHプログラム研究会総会を開催

18:00 交流パーティー

2月24日(月・祝)

9:00 受付

9:30 実践報告とディスカッション

11:45 昼食休憩

13:00 実践報告とディスカッション

15:15 閉会式

15:30 終了

※1日目プログラム終了後18:00より別会場(会場より徒歩約5分)にて参加者の交流を図るため、交流パーティーを行います(定員100名)。どうぞご参加ください。

参加費

TEACCHプログラム研究会会員 8,000円

一般 14,000円

オンデマンド配信(1日目のみ) 5,000円

交流パーティー 5,000円

※TEACCHプログラム研究会への新入会希望の方は  
ホームページ(<http://www.teacchken.com>)からお申し込みください(裏面参照)。

#### 会場のご案内

#### 京都産業会館ホール

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地  
京都経済センター2階

市営地下鉄烏丸線「四条駅」下車 / 阪急京都線「烏丸駅」下車  
徒歩約2分「26番出口」よりB1階入口直結



地図はこちら

# プログラム

## 1日目 講演 ローラ・クリンガー博士

### 「TEACCHの現在地—いま、知っておきたいこと」

半世紀を超える歴史のあるTEACCHですが、自閉スペクトラム症の人へのより良い支援を目指して今も発展を続けています。ローラ・クリンガー先生からTEACCHの最新の情報についてお話しいただきます。

## 2日目 実践報告とディスカッション コーディネーター 内山登紀夫・諏訪利明

TEACCHプログラム研究会の会員から日本の実践を報告し、会場とローラ・クリンガー先生を交えて意見交換を行います。

### 1 「見通しのつかないことへの不安が不適応行動につながっていた男児への支援と保護者支援」

鈴木依梨・中村祐子 公益財団法人東京カリタスの家 子どもの家エラン ●東京支部

こども園と当事業所を併用している、暴言や破壊行動のある男児へ、彼の強みを生かし、見通しを持ち、平穩に過ごす工夫を保護者とともに考え、試行錯誤しながら取り組んでいる事例を報告します。

### 2 「保育所等訪問支援を活用した保護者、園、学校との協働で取り組む支援」

村岡伸祥 NPO法人こんぱす ●宮崎支部

園や学校での活動の様子や家庭での課題について、児童発達支援や放課後等デイサービス、保育所等訪問支援のそれぞれの役割を活用し、アセスメントから、自立した内容を園や学校、家庭へ般化した事例について報告します。

### 3 「強みからオーダーメイドな支援を考える」

吉井宏孝 社会福祉法人はるにれの里 自閉症者地域生活支援センター なないろ ●北海道支部

ASD、重度知的障害、強度行動障害、自傷による視機能低下と視力障害を抱えるMさん。ご本人には、生きづらさにつながる課題がいくつもある。一方で強みとなるスキルも多く存在する。今報告では、『強み』から考えるオーダーメイドな支援について報告する。

### 4 「強度行動障害を呈するASD者に対する集中的支援の一事例：重度訪問介護を活用した一人暮らしの生活実態」

米澤巧美 社会福祉法人横浜やまびこの里 障害福祉部(横浜女子短期大学) ●神奈川支部

強度行動障害の状態像を呈する青年期ASD者1名に、約3ヶ月間の集中的支援(入院治療からショートステイ、グループホームから重度訪問介護を利用した一人暮らし)を実施した。この実践には、「根拠の確認された支援」が実装され、コーディングによる「地域における多職種連携」が図られた。

## 参加申し込み方法

### セミナーおよび交流パーティへの参加申し込み

Peatixにて申し込みを受け付けております。  
(セミナー先着300名、交流パーティー先着100名で締め切ります)

<https://teacch2025.peatix.com>



### 宿泊・昼食弁当の申し込み

宿泊・昼食弁当をご希望の方は、こちらからお手続きください。

<https://gtc2.knt.co.jp/kntfront/convention/CON10010.html?t=T2000563154>



TEACCHプログラム研究会への  
新規入会申し込みについて

- ① TEACCHプログラム研究会への入会をご希望の方は、Peatixの画面にてお申し込み時に「入会希望あり」を選択し、所属希望の支部を選択し、希望支部に連絡してください。
- ② 入会希望支部への連絡方法や手続きに関する詳細は、TEACCHプログラム研究会本部の公式ホームページ(<http://www.teacchken.com/admission/index.html>)にてご確認ください。

## 問い合わせ先

お問い合わせにつきましては、E-mail:[teacch.collaboration@gmail.com](mailto:teacch.collaboration@gmail.com)まで。